



1 今年の出席者は1,024人 / 2 鮮やかな振袖をまとい会場入り / 3 式辞を述べる勝部修市長 / 4 市民憲章を唱和する小菅正晴市教育長 / 5 祝辞を寄せる千葉大作市議会議員 / 6 鈴木功市教育委員長が小山峻介さん(室根町)に記念品を贈呈 / 7 練った企画に笑顔がこぼれる / 8 息の合ったダンスを披露 / 9 真剣な表情を見せる新成人 / 10 スマートフォンで家族と「自撮り」 / 11 同級生との再会を喜ぶ / 12 恩師からのビデオレターを上映 / 13 「そんな気がするんだ」を合唱 / 14 看板の横で記念撮影 / 15 華やかな帯が会場を彩る / 16 リラックスした表情の出席者



二十歳の門出を祝う

明け方にかけて降った雪も融け、若者の前途を祝福するかのようには太陽が顔をのぞかせました。「平成28年一関市成人式」は1月10日、市総合体育館(ユードー)で行われ、1024人の新成人が大人への一歩を踏み出しました。

今年の対象者は、市内在住または本市出身の1995年4月2日〜96年4月1日生まれの1196人。このうち1024人(出席率85・62%、男523人、女501人)が晴れの日に共に迎えました。正午過ぎ、会場にはスーッ

や紋付きはかま姿の男性、華やかな振り袖をまとった女性が続々と到着。久しぶりに再会したクラスメイトとの会話を楽しんだり、互いの晴れ姿を撮影したりして、喜びを分かち合っていました。午後1時半から行われた式典で、勝部修市長は「皆さんが誇りと愛着を持てるまちにするため、各地域の特性を生かしたまちづくりが必要。新成人の皆さんは地域を元気にする笑顔忘れず、青春の日々を送ってほしい」と式辞。市の将来を担う若者たちにエールを送りました。

新成人を代表して、高橋葵さん(厳美町)は「家族、友人、先生や地域の皆さんに支

新成人 × 笑顔

1,024人が大人の仲間入り  
古里の友とあふれる笑顔  
ハタチの喜びを  
共に分かち合った

大人の自覚を胸に

えられた20年間。感謝の気持ち忘れず、それぞれの夢に向かって歩いていきます」とあいさつ。今後の飛躍を誓いました。真剣な表情で式に臨んだ新成人。凛とした姿からはそれぞれの決意がうかがえました。

式典に続いて、成人式企画実行委員会(瀧澤千里委員長)が主催する記念行事が行われました。今年のテーマは「How did you grow up?」(あなたはどのように成長しま

したか)。これまでの自分を省みることで、大人としての自覚を新たにするきっかけにしたいと掲げました。

実行委の男性らによるダンス▼中学時代の恩師からのビデオレターの上映▼市特産品が景品のご当地クイズ▼成人式の歌「そんな気がするんだ」の合唱▼卒業した学校や先生からのメッセージの掲示のほか、本市の観光スポット、イベントやグルメなどを新成人がまとめたホームページを発表。バラエティに富んだ企画で晴れの舞台に華を添えました。

二十歳の視点

We love Ichinoseki.

市の移住応援サイト「あばいん一関」内に新成人が作成した「I-styleハタチ」のページは、若者目線でセレクトした一押し観光スポットなど、一関の魅力を紹介している。(http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ijyu/istyle/)

